

第2学年〇組 英語科学習指導案

平成〇〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時
第2学年〇組教室 (在籍生徒 40名)
授業者 教諭 〇〇 〇〇

1 単元名 Program 9 A Video Project Sunshine English Course 2 (開隆堂)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は比較級、最上級、同等比較の表現を扱い、周りとの違いや同じであることを説明する表現を学習していく。文法構造の違いとして、日本語では比較する形容詞や副詞が変化しないのに対し、英語では語尾に-er や-est をつけたり、語によっては more や most を前に付ける。good や bad が不規則に変化することにも留意させたい。比較級や最上級は国の面積や建物の大きさ、個人の見解、グラフの説明など、多岐にわたって用いられる表現である。この題材を通して、周りのものの違いや、意見のより詳細な説明をすることができるようになる。三年次に「英語で日本を説明する」スピーチをする際に他国との違いを示すうえでも、確実に定着させたい。また、本単元の学習の中で、他との違いに気づく力も身に付けさせたい。

(2) 生徒観

本校の2年生は全体的に生徒は明るく素直で、落ち着いた学校生活を送っている。授業で多くの生徒と交流する活動を多く盛り込むことで、誰へだてなく接することのできる生徒が多い。また、行事の際には一丸となって取り組み、クラスごとのまとまりも強く感じられる。行事で培われた仲間関係は、授業での課題解決学習においても生かされ、特にグループ学習における主体的・対話的を成功させる一助となっていると思われる。一方、宿題や自主学習に取り組めない生徒には個別に声掛けを行っている。また、多くの生徒が発音に自信のないように感じられるため、発音の難しい単語は丁寧に導入し、各文のイントネーションを確認している。

以下は今年度の埼玉県学力テストの結果である。

	平均正答率	教科の領域等別平均正答率		
		聞くこと	読むこと	書くこと
県	59.7	63.1	59.4	55.7
市	60.8	65.0	60.3	56.5
本校	61.3 (↑)	65.9 (↑)	62.2 (↑)	52.3 (↓)

本校の2年生は、「聞くこと・読むこと」に長けている。これは、生徒が小学校の段階から英語に多く触れているために、英語を聞いたり話したりすることへの抵抗が少ないことが要因の一つとも考えられる。また、課題については「内容にまとまりのある文章を書く力の向上」と考えられる。昨年度から書く力が乏しいと感じられていたため、今年度から授業の帯活動として「たてよこドリル」を導入し、反復して英文を書くことで基本的な文型の定着を図っている。さらに家庭学習とし

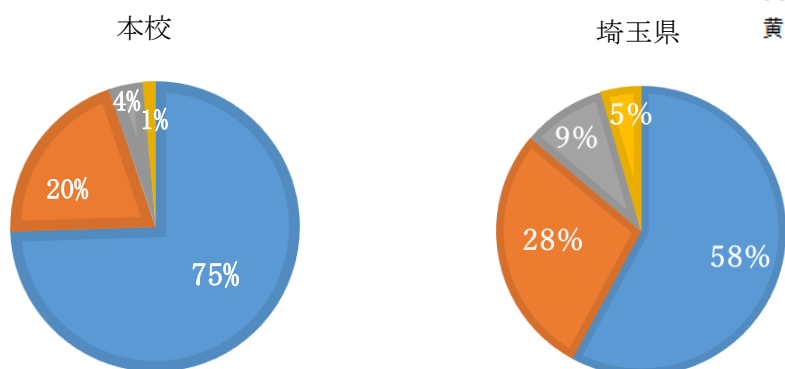
て文法ごとに基本英文をまとめさせ、ノートに書かせている。また、各学期に一度その時期の文法に合致したテーマのレポートを提出させ、まとまりのある文章を書く練習をしている。

(3) 指導観

日々の授業から対話的な学びに重点を置き、他と協力して課題に取り組む力の育成を図っている。対話は英語に限らず、答えのない問題を考えるにあたって必要不可欠である。生徒には課題を自分一人で抱え込むのではなく、互いに手を取り合えるようになってほしい。

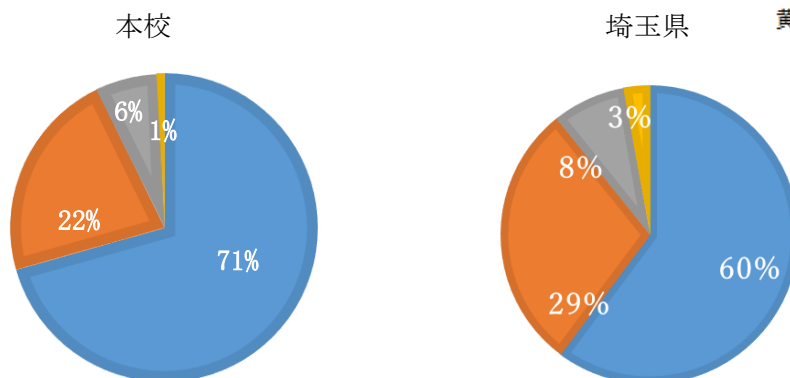
また、情報化社会において、インターネットで検索すれば答えはすぐに見つかることが多い。しかし自分自身の価値観を広げたり、多様な意見を受け止めるためには人と人との直接的な交流が大きな意味を持つと考える。授業では直接相手の意見を受け、自分の意思を伝えることのできるようなコミュニケーション能力を育てたい。そしてそのような直接的な触れ合いが、仲間関係をより良くする一助になると考える。

質問番号 47: 授業で、友達と英語を使って活動することで、新しい英語の表現を使えるようになりましたか。



青：思う
 橙：どちらかといえば思う
 灰：どちらかといえば思わない
 黄：思わない

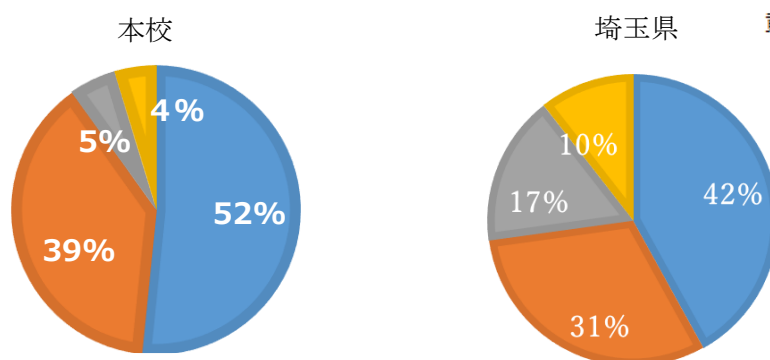
質問番号 48: 授業で、自分や友達の考えや気持ちなどについて、英語で聞く、話す、読む、書くなどの活動を行っていますか。



青：思う
 橙：どちらかといえば思う
 灰：どちらかといえば思わない
 黄：思わない

質問番号 49: 授業で、英語を使って活動することで、
自分も英語を使ってみたいと思うようになりました

青：思う
 橙：どちらかといえば思う
 灰：どちらかといえば思わない
 黄：思わない



これらは県の質問紙調査の結果である。普段の学習や自分のことを表現する統合的な言語活動が多く
 の生徒によって受け入れられ、英語学習へのさらなる興味関心につながっているということが読み
 取れる。対話的な学びを考えたとき、生徒にとって安心して間違えることができる温かい環境を整え
 ることも英語学習においては重要である。授業では、誰とでもペアを組めることや友達の発表にしっ
 かり耳を傾けるなど、信頼関係を構築する上で基本的なマナーを大切に指導していきたい。

特に本単元では、そういった環境の中でグループで作文する場面を設け、教え合い・学び合いを通
 して文法事項の確認をしながら深い学びにつなげたい。

3 研究仮説に対する具体的な指導と手だて

本年度の研究課題「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、研究の視点「主体的・対
 話的で深い学びを実現する授業づくり」を研究するにあたり、以下のような仮説と手立てを設定した。

【仮説 1】 生徒の興味・関心を高める題材を用いて、ペアワークやグループワークなどに積極的に取
 り組むことで、主体的で活発な活動になり、より深い学びにつながるだろう。(対話的なアクティビ
 ティー)

【仮説 2】 生徒同士で問題を出し合い、ヒントを使って教え合うことで、文法理解が進み、より深い
 学びにつながるだろう。(帯活動)

【手だて 1】: グループごとに与えられたテーマについて、自らの興味・関心のある題材を選び、対話
 を通してまとまりのある文章を作成する。

【手だて 2】: 会話シートやたてよこドリルを用いて基本文の復習を生徒同士で行う。提示された日
 本語文をもとに英文を作る。出題者は相手の間違いや表現に苦慮している部分について答えを教え
 るのではなく、うまく英語を引き出すようなヒントを与える。

【仮説 1】 については、個人で英作文に取り組むよりも、他者と対話を重ねることで文法理解がより
 深まると考える。特に、英語に苦手意識がある生徒においては、間違いを恐れて表現を躊躇する傾
 向がみられるため、表現することに対して自信を持つことができるようになると期待できる。

【仮説2】については、ヒントを出すために表現を自分の中で再確認することで、復習につながる。また、相手の間違いなどから文法的なポイントを再認識し、教え合い・学び合いを通して自身の文法的な理解を深めることができると考える。さらに、生徒同士の対話の中から新たな疑問が生まれ、より深い探求心が生じることが期待できる。

4 単元の目標

- ①積極的に自分の考えを表現しようとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ②比較級や最上級、同等比較の表現を用いて、ものや人を説明することができる。(外国語表現の能力)
- ③まとまりのある文章を読んだり聞いたりして、内容を理解することができる。(外国語理解の能力)
- ④比較級や最上級、同等比較の表現の文法的用法を理解している。(言語や文化に関する知識・理解)

5 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化に関する知識・理解
聞くこと			①比較や最上級、同等比較が用いられている英文を聞き、その内容を正確に理解することができる。	
話すこと	①間違いを恐れずに積極的に表現している。	①比較級や最上級、同等比較の表現を用いてものや人を正しく説明することができる。		①比較級や最上級、同等比較の表現について文法的用法を理解している。
読むこと		②正しい強勢や発音で英文を読むことができる。	②まとまりのある英文を読み、その内容を正確に理解することができる。	
書くこと	②間違いを恐れずに積極的に表現している。	③比較級や最上級、同等比較の表現を用いてものや人を正しく説明することができる。		②比較級や最上級、同等比較の表現について文法的用法を理解している。

6 指導と評価の計画（全8時間扱い）

時間		評価					
		関	表	理	知	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> 比較級を用いた文の用法を理解する。 A is 比較級 than B. 比較級を用いてものの説明をする。 		○		○	<ul style="list-style-type: none"> 比較級や最上級、同等比較の表現を用いても人や人を正しく説明することができる。 比較級や最上級、同等比較の表現について文法的用法を理解している。 イ③、エ② 	ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> 最上級を用いた文の用法を理解する。 A is the 最上級 in Japan. 最上級を用いた英文を読んで理解する。 			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 比較や最上級、同等比較が用いられている英文を聞き、その内容を正確に理解することができる。 比較級や最上級、同等比較の表現について文法的用法を理解している。 ウ①、エ① 	ワークシート
3	<ul style="list-style-type: none"> 同等比較を用いた文の用法を理解する。 A is as ○○ as B. 同等比較を用いて絵に合う英文を作る。 	○	○			<ul style="list-style-type: none"> 間違いを恐れずに積極的に表現している。 比較級や最上級、同等比較の表現を用いても人や人を正しく説明することができる。 ア①、イ① 	<p>観察</p> <p>ワークシート</p>
4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 比較級や最上級、同等比較を用いてまとまりのある英文を書く。 比較級や最上級、同等比較を用いてまとまりのある英文を発表する。 	○	○			<ul style="list-style-type: none"> 間違いを恐れずに積極的に表現している。 比較級や最上級、同等比較の表現を用いても人や人を正しく説明することができる。 ア①、イ② 	<p>観察</p> <p>ワークシート</p>

5	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級が用いられている英文を読み、サムとももこと武の話の内容を理解する。(pro. 9-1) ・正しい強勢や発音で英文を読む。 		○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢や発音で英文を読むことができる。 ・まとまりのある英文を読み、その内容を正確に理解することができる。 <p style="text-align: center;">イ②、ウ②</p>	<p>観察</p> <p>自己評価シート</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・最上級が用いられている英文を読み、武のスピーチの内容を理解する。(pro. 9-2) ・正しい強勢や発音で英文を読む。 		○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢や発音で英文を読むことができる。 ・まとまりのある英文を読み、その内容を正確に理解することができる。 <p style="text-align: center;">イ②、ウ②</p>	<p>観察</p> <p>自己評価シート</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・同等比較が用いられている英文を読み、ももこのスピーチの内容を理解する。(pro. 9-3) ・正しい強勢や発音で英文を読む。 		○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢や発音で英文を読むことができる。 ・まとまりのある英文を読み、その内容を正確に理解することができる。 <p style="text-align: center;">イ②、ウ②</p>	<p>観察</p> <p>自己評価シート</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級、最上級、同等比較が用いられたまとまった英文を読み内容を理解する。 ・教科書の英文をペアで音読する。(pro. 9) ・program9の文法の復習を行う。 		○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢や発音で英文を読むことができる。 ・比較や最上級、同等比較が用いられている英文を聞き、その内容を正確に理解することができる。 ・比較級や最上級、同等比較の表現について文法的用法を理解している。 <p style="text-align: center;">イ②、ウ①、エ①</p>	<p>発表</p> <p>ワークシート</p>

7 本時の学習 (4/8時)

①本時の目標

- ・比較級や最上級、同等比較を用いてまとまりのある英文を書く。
- ・比較級や最上級、同等比較を用いてまとまりのある英文を発表する。

②本時の評価基準

- ・比較級や最上級、同等比較の表現を用いてもことや人を正しく説明することができる。
- ・間違いを恐れずに、自分たちの作った英文を話そうとしている。

③本時の展開

過程	○学習活動	◇学習内容	・指導上の留意点	◎評価
W - U p 6 分	<p>○あいさつ</p> <div data-bbox="209 394 927 613" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇Good afternoon everyone. What day is it today? What' s the date today? What time is it now? How' s the weather now? How was the weather yesterday?</p> </div> <p>○会話シートを使った会話練習</p> <p>○たてよこドリルを用いた英訳</p>	<p>◇例 : Which is longer, the Nile River or the Amazon River? The Nile River is longer than the Amazon River. It' s the longest river in the world.</p> <p>◇手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ S1 が日本語を言う ・ S2 が英語で表現する ・ S1 が適宜ヒントを出す ・ S2 はできなかった番号をノートに記録する ・ 時間になったら役割を交代する 	<p>・目を見て、明るい表情であいさつさせる。</p> <p>・できるだけシートを見ないで答えさせる。</p> <p>・ 答えの後に+ 1 sentence をさせる。</p> <p>・直接答えを与えさせず、うまく英語を引き出すようなヒントを与えさせる。</p>	
導 入 5 分	<p>○前時までの復習</p> <div data-bbox="220 1350 927 1973" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T: Do you know this monster? S: It is Pikachu. T: Yes, that' s right. How about this one? S: It is Ibui. T: Which is taller, Pikachu or Ibui? S: Pikachu is taller than Ibui. T: Yes. Next, what' s this monster? S: It is Mizugoro. T: Yes. Which is taller, Pikachu or Mizugoro? S: Pikachu is taller than Mizugoro. T: NO. Pikachu is as tall as Mizugoro. Do you know this monster?</p> </div>	<p>◇モデル文の紹介</p>	<p>・例を示しイメージをつかませる。</p> <p>・やりとりを通して、生徒から答えを引き出す。</p> <p>・既習事項が確認できるように、比較の文については強調する。</p>	

	<p>S: It' s Kabigon. T: Which is the tallest of the four? S: Kabigon is the tallest of the four. T: Yes. Kabigon is the tallest of the four. I like Kabigon very much.</p>			
<p>展 開 3 1 分</p>	<p>○本時の活動の確認 ○文法事項の確認 ○比較の文の練習 ○比較級・最上級・同等比較を用いた英文づくり</p>	<p>目標「比較の文を使って4文以上のまとまりのある文章を作る。」</p> <p>◇比較級→○○er+than 最上級→the ○○est+in/of 同等比較→as ○○ as</p> <p>◇<i>Pikachu is taller than Ibui.</i> <i>Kabigon is the tallest of the four. Pikachu is as tall as Mizugoro.</i></p> <p>◇活動手順 ・1グループ3人程度に分かれる ・1グループ1テーマを担当する ・各自で持ち寄った情報を共有する ・4文以上の英文を作成する</p> <p>A評価の例 This is <i>Pikachu</i>. This is <i>Ibui</i>. Which is taller, <i>Pikachu</i> or <i>Ibui</i>? <i>Pikachu</i> is taller than <i>Ibui</i>. This is <i>Mizugoro</i>. <i>Pikachu</i> is as tall as <i>Mizugoro</i>. This is <i>Kabigon</i>. It is the tallest of the four.</p>	<p>・黒板に提示する。 ・生徒から答えを引き出しながら確認する。 ・er や est, as をつけることを強調し、言えているかどうか確認する。 ・他に使える表現 (tall や heavy など) も練習する。 ・発表前に練習を行い、自信を持って発表させる。聞く側のマナーについても指導する。</p>	<p>◎比較級や最上級、同等比較の表現を用いたものや人を正しく説明することができる。(ワークシート)</p>
<p>○他のグループに作った英文を紹介する</p>	<p>◇活動手順 ・指定されたグループに対して紹介する ・ローテーションを組んで5回他グ</p>	<p>・発表後に聞き手のグループから、良かった点や表現を一言コメントとして</p>	<p>◎間違うことを恐れず、積極的に比較の表現を使った英</p>	

		ループと紹介し合う ・一人1文以上発表させる。 ・発表を受けたグループは一言コメントをする	伝えさせる。 ・最終的には原稿を見ないで説明できるようにさせる。	文を発表している。(発表)
A:積極的に発表している。 B:原稿を見ながら発表している。 C:原稿を見ても比較の文を読むことができない。 Aの生徒への支援:身振りや表情、目線も工夫させる。 Cの生徒への支援:周りの生徒に手助けをするよう指示する。				
ま と め 8 分	○代表グループによる英文の紹介 ○自己評価カードの記入 ○次時の予告と課題の提示	◇活動手順 ・代表の2グループが全体の前で発表する ・内容を共有し、比較の文法的用法を確認する	・初めて聞くグループに、良かった点や表現を一言コメントとして伝えさせる。 ・今日の授業を通して気づいたことを書かせる。	

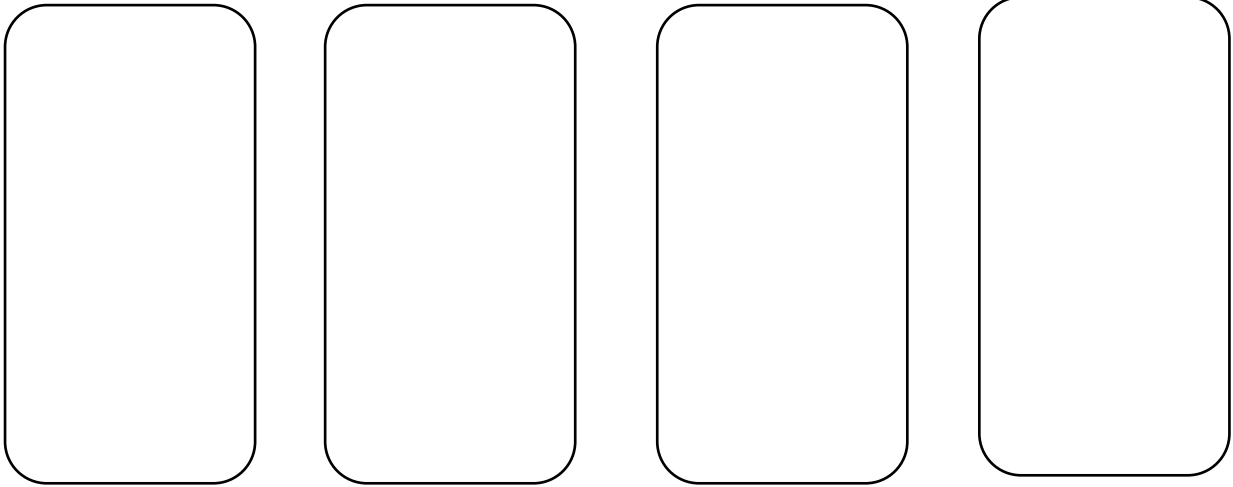
8 板書計画

Pro.9 比較の表現を使っているんなものを比べよう

<p>目標: 比較の文を使って 8文以上の まとまりのある 文章を作る。</p> <p>間違いを恐れず みんなの前で 発表する。</p>	<p>比較級 → A is ○○er+than B.</p>	<p>ワーク シートの 記入例</p>
<p>最上級 → A is the ○○est+of the 数字 in 場所</p>		
<p>同等比較 → A is as ○○ as B.</p>		
<p>large 大きい/広い small 小さい tall 高い short 小さい heavy 重い light 軽い long 長い short 短い</p>		

比較表現で writing

☆情報を調べて書いてみよう！



☆比較級・最上級・同等比較を使って英文を書いてみよう！

① _____

② _____

③ _____

④ _____

⑤ _____

⑥ _____

⑦ _____

⑧ _____

⑨ _____

⑩ _____

Class _____ No. _____ name _____

